

令和3年度入学生用  
2年次(令和4年度開講)

留学生特別科目  
【教育課程】



# 令和3年度入学生 教育課程

別表 第5 留学生特別科目教育課程表 授業科目名の前の数字はページ番号  
(○印は一般教養科目と重なる)

授 業 科 目	授 業 形 態	履修方法		開 講 学 期 単 位 数				備 考
		履 修 単 位 数		1前	1後	2前	2後	
		必修	選択					
<b>外国人留学生特別科目</b>		* 日本語を第一言語(母語)とする学生は、下記の科目を受講することはできない。						
3	○ 日本語演習Ⅰ	演 習	2		2			<p>日本語演習Ⅰ～Ⅱの修得単位は外国語演習の単位に代えることができる。</p> <p>*但し、教員免許の取得を希望する場合は、日本語演習以外の言語を選択し、Ⅰ・Ⅱを連続で履修する必要がある。</p> <p>但し、科目の修得単位は一般教養科目の単位に代えることができる。</p> <p>*履修方法については各学科毎に定める</p>
	○ 日本語演習Ⅱ	演 習	2			2		
5	日本語演習Ⅲ	演 習	2				2	
	日本語演習Ⅳ	演 習	2				2	
7	日本事情Ⅰ	演 習		1	1			
	日本事情Ⅱ	演 習		1		1		
	日本事情Ⅲ	演 習		1			1	
9	日本事情Ⅳ	演 習		1			1	
最低修得単位数			8	4	/	/	/	



科目名	日本語演習Ⅲ	科目ナンバー	
担当者	村本 茜		
授業形式	演習	関連するDPの番号	②
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			

授業の概要	この授業では、N2レベルの日本語を復習しながら、N1レベルの語彙や文型を勉強します。日本語能力試験の模擬試験に挑戦します。その他にも、新聞記事や小説などの文章を読んだり、ニュースや歌を聞いたりして、様々な日本語に触れ、そこで使われる新しい言葉や、独特な表現を学んでいきます。
授業の到達目標	1. N1レベルの日本語の語いや文型をしっかり勉強し、身につける 2. 短期大学の授業で使われる語いをさらに覚え、理解できるようになる 3. 自分の考えや気持ちを、作文や会話でうまく表現できるようになる

授業計画		担当者
第1回	今年度の抱負を発表します	村本
第2回	時間的前後 文型：～やいなや・～がはやか・～なり・～そばから 語彙と漢字①	村本
第3回	程度・比較 文型：～にもまして・～にあたらぬ・～ないまでも 読解と聴解①	村本
第4回	原因・理由 文型：～ゆえに・～とあって・～ばこそ・～ではあるまいし 語彙と漢字②	村本
第5回	可能・難易 文型：～ようにも～ない・～にかたくない・～にたる 読解と聴解②	村本
第6回	目的 文型：～がため(に)・～べく 語彙と漢字③	村本
第7回	日本語能力試験 模擬テスト	村本
第8回	日本語能力試験 模擬テスト解説	村本
第9回	逆説・譲歩 文型：～とはいえ・～ものを・～と思いきや 読解と聴解③	村本
第10回	条件 文型：～たらさいご・～なくして・～とあれば 発音練習	村本
第11回	逆説条件 文型：～といえども・～であれ・～ようが 語彙と漢字④	村本
第12回	様子・状態 文型：～まみれ・～ずくめ・～ともなく・～とばかりに 作文練習	村本
第13回	傾向 文型：～きらいがある・～めく 読解と聴解④	村本
第14回	禁止・義務・不必要 文型：～まじき・～べからず・～までもない 会話練習	村本
第15回	日本の映画を見て「日本文化」について考えます	村本

授業に含まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・フィールドワーク	その他の活動 ※ICT教育等を含む
	○	○			

担当教員の実務経験と授業の関連			
-----------------	--	--	--

事前学習	勉強した表現を、ほかの授業でたくさん使ってください	学習合計時間(h)	30時間
------	---------------------------	-----------	------

事後学習	授業で教わったことを、その日に家でもう一度勉強してください	学習合計時間(h)	30時間
------	-------------------------------	-----------	------

課題に対する フィードバックの 方法	復習テストなどで確認します
質問・相談方法	何かあれば、授業中や授業の前後に相談・質問してください
オフィスアワー	
テキスト	特になし（プリントを配ります）
参考文献等	『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』 友松悦子ほか 株式会社アルク 2013年 2500円（ISBN：978-4757418905）
成績評価基準	勉強した文型や語いが使えるようになったかどうかを評価の基準にします
成績評価の方法	授業態度（20%）、 中間テスト（40%）、 課題レポート（40%）
GPA基準	
備考	受講対象者 留学生のみ

科目名	日本語演習Ⅳ	科目ナンバー	
担当者	村本 茜		
授業形式	演習	関連するDPの番号	②
配当年次	2	科目群	一般教養科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	選択必修
単位数	2	担当形態	単独
免許・資格情報			

授業の概要	この授業では、12月の日本語能力試験の受験に向けて、N1レベルの語彙や文型を勉強します。また、短期大学を卒業した後、就職先でも上手くコミュニケーションが取れるように、ビジネスの場面で使われる日本語の言葉や表現も学んでいきます。面接や書類、メールの書き方の練習等もします。
授業の到達目標	1. N1レベルの日本語の語いや文型をしっかり勉強し、身につける 2. 自分の意見や感想を日本語でうまく述べられるようになる 3. ビジネスの場面で使われる日本語の表現を知り、使えるようになる

授業計画		担当者
第1回	夏休みにしたことについて、発表します	村本
第2回	話題 文型：～ときたら・～にいたっては・～となると 語彙と漢字①	村本
第3回	起点・終点 文型：～をかわきりに・～にいたるまで・～をもって 読解と聴解①	村本
第4回	限定 文型：ただ～のみ・～ならでは・～をにおいて 語彙と漢字②	村本
第5回	非限定 文型：ただ～だけでなく・～にとどまらず・～ばかりか 読解と聴解②	村本
第6回	付加 文型：～はおろか・～もさることながら・～とあいまって 語彙と漢字③	村本
第7回	日本語能力試験 模擬テスト	村本
第8回	日本語能力試験 模擬テスト解説	村本
第9回	付帯状態 文型：～かたわら・～がてら・～かたがた ビジネス日本語①	村本
第10回	評価の視点 文型：～ともなると・～ともあろう・～たる 会話と作文①	村本
第11回	基準 文型：～にそくして・～ごとく・～をふまえて ビジネス日本語②	村本
第12回	無関係・除外 文型：～いかんによらず・～をものともせず・～をよそに 会話と作文②	村本
第13回	軽重の強調 文型：～あっての・～きわまる～のきわみ～のいたり ビジネス日本語③	村本
第14回	強制 文型：～ずにはすまない・～ずにはおかない・～をきんじえない 会話と作文③	村本
第15回	日本の映画を見て「日本文化」について考えます	村本

授業に含まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・フィールドワーク	その他の活動 ※ICT教育等を含む
	○	○			
担当教員の実務経験と授業の関連					
事前学習	勉強した表現を、ほかの授業でたくさん使ってください			学習合計時間(h)	30時間
事後学習	授業で教わったことを、その日に家でもう一度勉強してください			学習合計時間(h)	30時間

課題に対する フィードバックの 方法	復習テストなどで確認します
質問・相談方法	何かあれば、授業中や授業の前後に相談・質問してください
オフィスアワー	
テキスト	特になし（プリントを配ります）
参考文献等	『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』 友松悦子ほか 株式会社アルク 2013年 2500円（ISBN：978-4757418905）
成績評価基準	勉強した文型や語いが使えるようになったかどうかを評価の基準にします
成績評価の方法	授業態度（20%）、 中間テスト（40%）、 課題レポート（40%）
GPA基準	
備考	受講対象者 留学生のみ



科目名	日本事情III	科目ナンバー	
担当者	黒川 太郎		
授業形式	演習	関連するDPの番号	④
配当年次	2	科目群	留学生特別科目
開講期	前期	卒業の選択・必修	
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報			

授業の概要	本授業は留学生が日本の習慣と日本の文化を知り、日本社会を理解するための授業です。「日本事情III」では、主に日本の歴史、現代の政治経済および地理（地方の特色）について説明します。
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な日本の歴史について理解できる</li> <li>2. 現代日本の政治経済情勢を知ることができる</li> <li>3. 日本の地域的な特色を知ることができる</li> </ol>

授業計画		担当者
第1回	授業について	黒川
第2回	日本の歴史：戦後のあゆみ	黒川
第3回	日本の政治制度と他国との違い	黒川
第4回	日本経済	黒川
第5回	日本の地理	黒川
第6回	東日本の文化と社会	黒川
第7回	西日本の文化と社会	黒川
第8回	日本の産業	黒川
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

授業に含まれる活動	<input type="radio"/> ディスカッション・討議 <input type="radio"/> グループワーク <input type="radio"/> プレゼンテーション・発表 <input type="radio"/> 実習(実験・実技)・フィールドワーク <input type="radio"/> その他の活動 ※ICT教育等を含む		
担当教員の実務経験と授業の関連	担当教員は台湾で日本語を教えていました。		
事前学習	日本のニュース・新聞を毎日見るようにしてください。	学習合計時間(h)	30時間
事後学習	分からない言葉や内容をインターネットなどで調べてください。	学習合計時間(h)	30時間

課題に対する フィードバックの 方法	授業の後に感想を聞いて、理解できたかどうかを調べます
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応します
オフィスアワー	現段階では不明（時間割完成後に告知）研究室（西館307）
テキスト	『留学生のための日本事情入門：1冊でわかる最新日本の総合的紹介. 改訂版』金津日出美, 桂島宣弘, アジアにおける日本研究ゼミナール著 文理閣 2017年 2000円（税抜き） ISBN: 9784892597916 [4892597910]
参考文献等	特になし
成績評価基準	①政治経済に対する理解度 ②日本の地理・地域の特色に関する理解度 ③受講態度
成績評価の方法	期末レポート（60%） 受講態度（40%）
GPA基準	
備考	

科目名	日本事情IV	科目ナンバー	
担当者	黒川 太郎		
授業形式	演習	関連するDPの番号	④
配当年次	2	科目群	留学生特別科目
開講期	後期	卒業の選択・必修	
単位数	1	担当形態	単独
免許・資格情報			

授業の概要	本授業は、留学生が日本の習慣と文化を知り、日本社会を理解するための授業です。「日本事IV」では、主に現代日本の社会問題について新聞やニュースを通じて説明します。
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本で生活する上で必要な文化や慣習を知ることができる</li> <li>2. 現代日本社会の問題点を理解できる</li> <li>3. 外国人にとって重要な日本の法制度（労働や教育）について理解できる</li> </ol>

授業計画		担当者
第1回	授業について	黒川
第2回	現代の日本社会	黒川
第3回	気候変動と災害	黒川
第4回	少子高齢化	黒川
第5回	労働問題	黒川
第6回	教育問題	黒川
第7回	食料自給率	黒川
第8回	LGBT	黒川
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

授業に含まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・フィールドワーク	その他の活動 ※ICT教育等を含む
	○		○		
担当教員の実務経験と授業の関連	担当教員は台湾で日本語を教えていました。				
事前学習	日本のニュース・新聞を毎日見るようにしてください。			学習合計時間(h)	30時間
事後学習	分からない言葉や内容をインターネットなどで調べてください。			学習合計時間(h)	30時間

課題に対する フィードバックの 方法	授業の後に感想を書いて、理解できたかどうかを調べます
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応します
オフィスアワー	現段階では不明（時間割完成後に告知）研究室（西館307）
テキスト	『留学生のための日本事情入門：1冊でわかる最新日本の総合的紹介. 改訂版』金津日出美, 桂島宣弘, アジアにおける日本研究ゼミナール著 文理閣 2017年 2000円（税抜き） ISBN: 9784892597916 [4892597910]
参考文献等	特になし
成績評価基準	①日本の社会問題に対する理解度 ②日本と母国の違いについて考えることができる ③受講態度
成績評価の方法	期末レポート（60%） 受講態度（40%）
GPA基準	
備考	